

重要文化財

# 定家本 源氏物語 行幸・早蕨

高精細原寸カラー版で初公開！

幻の定家本出現！

★『行幸』は、新たに重要文化財に指定されました！（2018年4月）

収録原本

★  
行幸  
早蕨

重要文化財（国所蔵・文化庁保管）  
重要文化財（個人蔵）

これまで詳細不明だった

最後の定家本の全貌が明らかに

藤本孝一 編・解題

●B5判上製本 一八六頁 定価（本体二八、〇〇〇円＋税）

好評発売中！

内容見本



八木書店

※扇面の図版は「行幸」冊子箱の蓋（本書参考図版）より

これまで詳細不明だった定家本の全貌を、高精細カラー版で初公開！

## 重要文化財 定家本 源氏物語 行幸・早蕨

2018年1月末刊行 ISBN978-4-8406-9765-1 C3093

藤本孝一編・解題 ●B5判・上製本・186頁・定価（本体28,000円＋税）

- 定家本源氏物語『行幸』（国所蔵・文化庁保管／重要文化財）、『早蕨』（個人蔵／重要文化財）の二帖を、高精細原寸カラー版で収録する。
- 詳細な解題を掲載し、これまで未紹介の参考史料として、藤原定家による大原野行幸の儀式次第書『大原野行幸次第』（個人蔵）の全文翻刻を付載する。

### 定家本の真の姿

公益財団法人冷泉家時雨亭文庫調査主任

藤本孝一

藤原定家は生涯にわたって何回も源氏物語を書写している。その中で、青色の表紙を付けて校訂した写本が「青表紙本」と呼ばれ、私たちが読んでいた源氏物語の元になっている。定家本のうち原本が遺されているのは『花散里』『行幸』『柏木』『早蕨』の僅か四帖のみである。重要美術品『行幸』・重要文化財『早蕨』は、初めての影印刊行であり、しかも『行幸』は、個人蔵であったため、これまで公開されることがなかった。今回、高精細原寸カラー版でこの二帖をつぶさに見ることができるようになる。しかし、原本は墨筆が主でわずかな朱合点だけであるのに、なぜカラー版なのか。定家本のほとんどは右筆書きであるが、校訂やなぞり書きは自らしている。そうなる筆跡そのものが重要になる。筆の濃淡や墨色の違いを検討できるのは高精細カラー版しかない。定家本の真の姿を、本書から読み取ってほしい。

★『行幸』は、新たに重要文化財に指定されました（2018年4月）

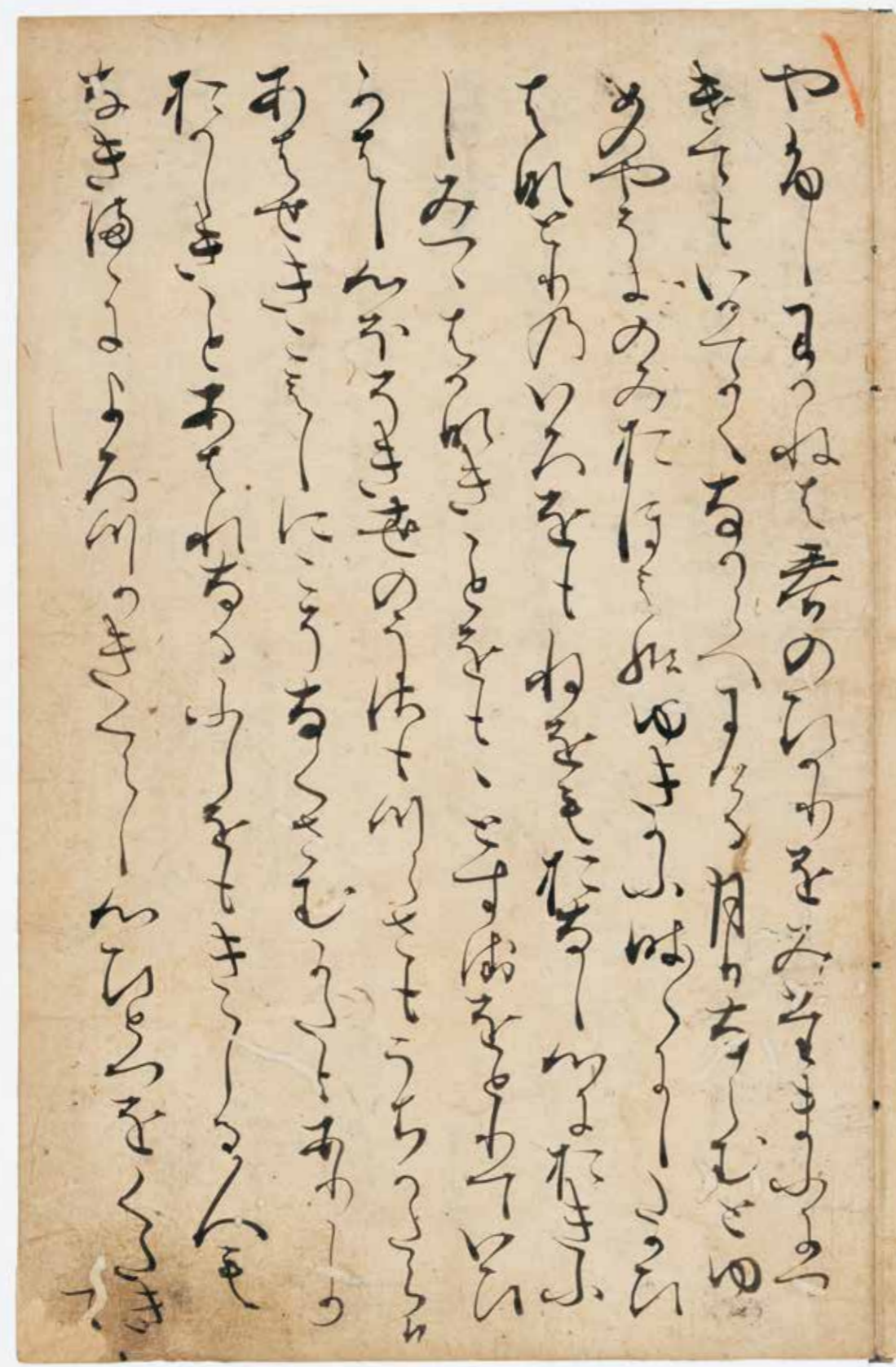


八木書店

●TEL 03-3291-2961 [営業] 03-3291-2969 [編集] ●FAX 03-3291-6300  
 ●E-mail pub@books-yagi.co.jp ●Web <https://catalogue.books-yagi.co.jp/>  
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8 [2017.12 YP]

申込書	八木書店刊		2018年1月末刊行	取扱店（番線印）
	定家本 源氏物語 行幸・早蕨		[ ] 冊	
	ISBN978-4-8406-9765-1 C3093		定価（本体28,000円＋税）	
	お名前（ふりがな）		TEL	
	ご住所 〒	FAX		
		E-MAIL		

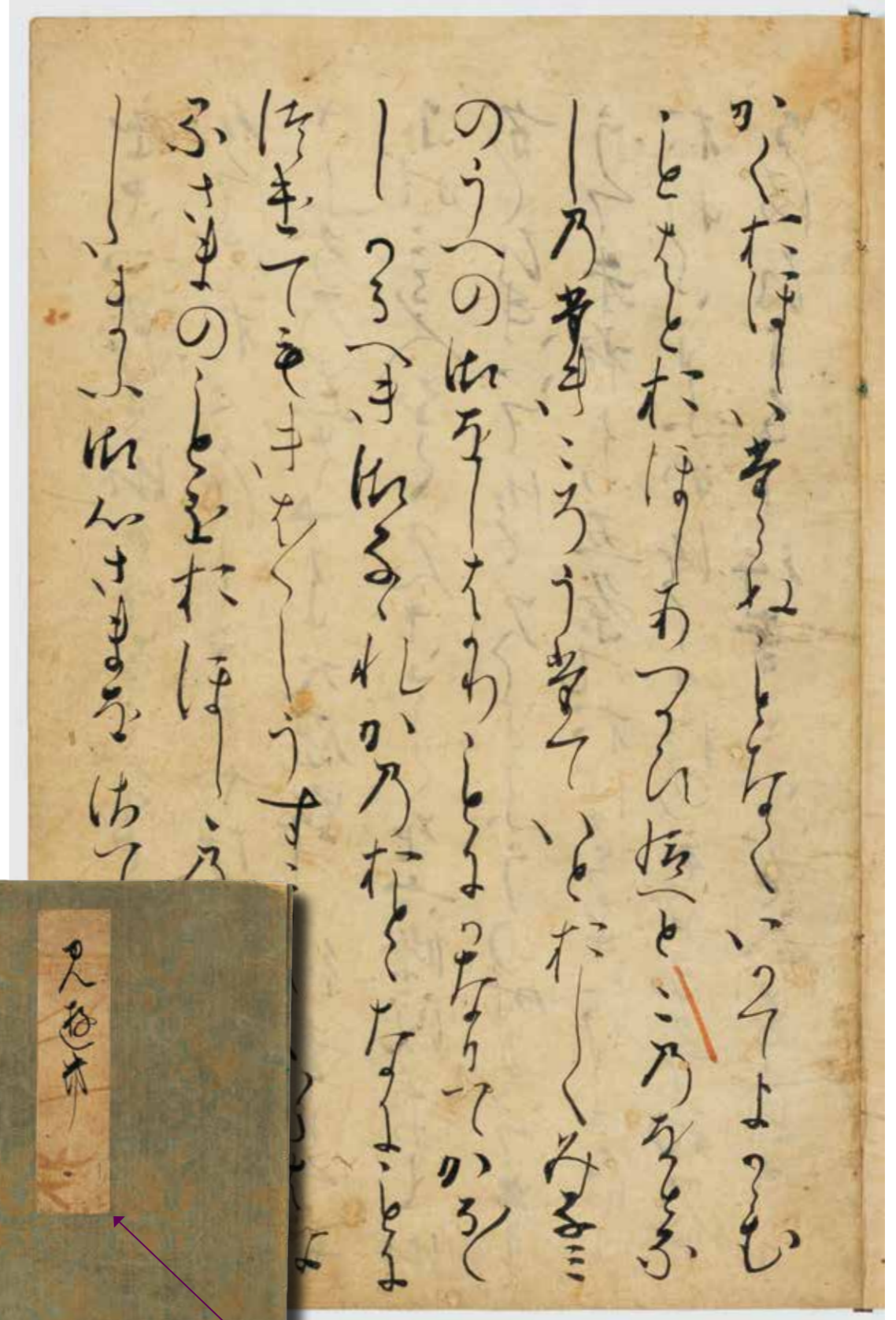
【早蕨】 原本原寸



定家本源氏物語とは 藤原定家筆本として伝わったが、現在では、定家が直接監督して書写された写本と考えられている。現存するのは、本書収録『行幸』『早蕨』の二帖と、前田育徳会尊経閣文庫所蔵『花散里』『柏木』の、僅かに四帖のみ。定家本系統（青表紙本）源氏物語諸本の原本にあたる最重要古写本である。

本文  
見本

【行幸】 原本原寸



『行幸』表紙

\*このリーフレットの図版は宣伝用の簡易印刷です。

『行幸』表紙の題簽「見遊幾」 前田育徳会尊経閣文庫所蔵の定家本『花散里』『柏木』の題簽と同じ料紙に、同筆で書かれており、この三帖は一具であったと思われる（本書「解題」参照）。